

南部佛印治安状況推移概要

終戦直後の政變

八月十四日越南帝國「バオタイ」帝ハ八月十四日付勅令ヲ以テ「フランス」ガ越南帝國ニ對シテ領土ヲ放棄セルハ六二年三月六日付並ニ一八七四年六月十五日付ノ交趾支那ニ對シテ條約ヲ廢棄スル旨宣言シコレヨリ同日以降交趾支那ハ越南帝國ニ復政セリ

同日付勅令ニヨリ初代南部越南欽差大臣ニハ「クエン」クエン「ヴァン」ヴァン「サム」サム任命サル

本年五十五才 操縦員出身ノ國家獨立愛國者

八月十六日越南帝國ハ戦争ノ急轉ニ怯マズ断乎獨立護持ヲ主張 十六日

ニ「瓜」瓜「業」業ニ趨ク「ト」ト顯スル越南帝國初ノ公式声明ヲ欽差大臣ノ署名ヲ發表シ獨立貫徹ノ決意ヲ闡明セリ

八月十九日交趾支那政庁「ハン」ハン「ノ」ノマ、新欽差府ニ吸收サレ蒙田之駐支那知事「ト」ト「ホ」ホ「ー」ー「ウ」ウ「ン」ン「ガ」ガ「ー」ー欽差大臣代理（欽差府官房長）トノ事務引継ハ嚴密

裡ニ完了セリ

同日「バオタイ」帝「ハ」ハ「ノイ」ノイ「」」並ニ「サイ」サイ「ン」ン「」」ノ欽差大臣ヲ通ジ全國ニ大要左ノ如キ宣言ヲ發シ帝國ノ今後ノ方途ヲ明カニセリ

越南帝國ハ今ヤ重大危局ニ直面スルニ至レリ 全世界ノ前ニ余ハ余ノ國威ガ自治ノ能力ヲ有スル事並ニ獨立ノ基礎ヲ確固トラシメル為メ

ソレカヲ結果スルニ決シタル事ヲ宣言スル義務ヲ有ス 余ハ以下ノ國際
情勢ニ対シ全國民ニ余ヘノ協力ヲ要望ス 國家ノ獨立ヲ保持シ國民ノ
權利ト利益ヲ擁護スルタメ余ハ一身ヲ犧牲ニスル決意ヲ有ス 余ハ復
略國家ノ帝王タランヨリハ獨立國家ノ一市民タラント欲ス 余ハ全國民ヲ
犧牲的精神ヲモツテ余ト行動ヲ共ニスベキコトヲ信ジテ疑ハズ忌ハ
シキ過去ヘノ復歸ニ対スル今後ノ戦ニ於テ余及ビ國民ハ正義ト人道ノ
勝利ヲ信ジテ疑ハズ 獨立國家越南ノミカ世界ノ恒久的平和ノタメ
ニ他國ト協力シ得ル事ヲ信スルコトヲ宣言スルモノナリ

八月二十日西貢堤岸市長ニコル・ヴァン・カンレ任命サル
カール・ヴァン・カンレ贈歴

本年四月ニオ、技術畑ノ出身、鑄物工場ノ經營者ニシテ現南部越南運動局長
八月二十三日「バオタイ」帝ハ、チャン・コン・キム内閣ノ辭表ヲ裁可シ左列各系國
家主義派タル越南黨ニ組閣ノ大命ヲ發シ他黨ト協力一致内閣ノ組織ヲ
要望セリ

八月二十五日越南新政權ハ態度ヲ表明シ左ノ宣言ヲ發ス
民主主義革命ハ成就シ臨時人民政府ガ南部越南ニ樹立セラル階
級ノ差別ナキ人民ノ直接ノ代表者トシテ本政府ハ次ノ二目標ヲ達成セ
ントス
一如何ナル代償ヲ拂フトモ越南ノ獨立ヲ維持スルコト
ニスベテノ人民ニ平均セル標準生活ヲ確保スルコト

在越外國人居留者ニソノ國籍ノ如何ヲ問ハズ何等ノ色其ノ與ヘシ
同日欽差大臣ハ「ユエ」政府ニ対シ辭表ヲ提出シ南北兩越南ノ欽差府ハ完全ニ
盟ノ支配スル所トナレリ

八月二十六日越盟政權ハ人民軍ヲ徵集シ且ソノ爲ノ國家資金モ設定スル
ヘキヲ言明ス

八月三十日午後「ユエ」王宮ニ於テ「バオダイ」帝ハ退位式行ハル 帝ハ退位
越南共和國市民權要求トニ関スル詔書ヲ放送シタル後國盟及皇帝
ヲ新政府代表「チャン・フイ・クエ」ニ自ラ手渡シタリ

斯クテ越南國ハ帝政ヨリ共和制ハ歴史的轉換ヲ遂ゲタリ
之ニ先立テ八月十八日革命政權ハ「バオダイ」帝ニ退位ヲ要求 之ニ対
「ユエ」皇帝政府拒密院「ハ革命政府」ニ対シ左ノ返電ヲ寄セ皇帝
退位ノ用意アル旨ヲ明カセリ

勅令ニ基テ拒密院ハ皇帝カ即時退位ノ用意アル旨ヲ返電スル旨
ヲ有ス 皇帝ハ之カタメ萬端ノ用意ヲ整ヘタルモ「前」民衆
ニ責任ヲ感スルカ故ニソノ退位カ祖國ニ有益ナル影響ヲ及ボス
及革命政權カ公式ニ民衆ニ対シ紹介スルコトヲ希望シタリ 更ニ
革命政府党首カ速カニ參上伺候 帝ヨリ實権ノ移譲ヲ受ケル
又適當ナル時期ヲ選ビ移譲式典ヲ舉行スルコトヲ希望シタリ 同
時ニ本電報ノ寫シヲ日本官憲ニ通報スル様命セラレタリ

あゝ、3